

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	世界遺産委員会の勧告を踏まえた小笠原諸島保全管理対策		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	自然環境計画課		課長 塚本 瑞天		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5-2 自然環境の保全・再生				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	世界遺産条約第4、5条		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>昨年6月に世界自然遺産に登録された小笠原諸島は、登録の際の決議において侵略的な外来種への対策の強化継続が求められている。このため、外来種対策、希少種保全等に係る取組を推進し、我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。なお、世界遺産の価値を構成する要素が喪失した場合には、世界遺産としての根拠を失うこととなり、危機遺産に登録される場合や世界遺産一覧表からの削除も想定される。</p>							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>小笠原諸島は陸産貝類をはじめとする生物相が生物進化のプロセスを顕著に示していることが世界遺産の価値として認められている。この世界遺産としての価値を維持するために、外来種対策などの総合的な保全対策の実施に係る全体構想を作成すると共に、世界遺産に登録された小笠原の顕著な普遍的価値の保全状況を把握し、今後の適切な対策の立案・実施に資するため、世界遺産地域の自然環境に関する総合的な調査を実施する。特に外来種対策については緊急の課題に対応する技術的手法の確立のため実証試験等を実施するとともに、観光客の増加に伴い懸念される外来種持ち込み等のリスクに対応するための防止対策の強化を行う。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	0	108	0	
		補正予算	-	-	727	0		
		繰越し等	-	-	△722	722		
		計	-	-	5	830	0	
	執行額		-	-	5			
執行率(%)		-	-	100				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	小笠原諸島世界遺産地域の保全管理の推進と世界遺産としての価値の維持を目的とした事業であるため、定量的な成果目標を示すことは困難。			成果実績	-	-	-	-
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種対策等全体構想の作成</li> <li>・自然環境総合調査の実施</li> <li>・外来種対策に係る実証試験等の実施</li> </ul>			活動実績 (当初見込み)	件	-	( - )	( - )
<b>単位当たり コスト</b>	- (円/ )			算出根拠	-			
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	0					
	環境保全調査費	107	0					
	計	108	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。</li> <li>・小笠原諸島の世界遺産としての価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために適切な対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、危機遺産リストに掲載される恐れがある。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。</li> <li>・小笠原諸島の世界遺産としての価値は生物進化に関するものであるが、その価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために細心の注意を払わなければならない。</li> <li>・このような対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、ガラパゴス諸島のように危機遺産リストに掲載される恐れがある。</li> </ul> 以上のことから、本事業は、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、国が実施すべき事業であるといえる。
	-		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き効果的・効率的な事業実施に努めること。	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
縮減		「遺産地域等貴重な自然環境保全推進費」へ統合し、一体的に事業を実施することにより、事業を効率的に実施するように努めることとし、概算要求額を減額。	
		補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）	
		-	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	24'新-027

※平成23年度実績を記入

環境省  
5百万円

【職員旅費】



A.個人  
計 5百万円

世界遺産保全管理の窓口  
体制整備のための小笠原  
出張等

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	世界遺産保全管理の窓口体制整備のための小笠原出張等	計 5	—	—